

令和五年度

学校推薦型選抜・社会人選抜入学試験

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ずにはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで2ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等気付いた場合は、手を挙げて監査者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があつたら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

ある日、われわれは、成功へのあらゆる不公正な障害をどうにか取り除いたものと想像してみよう。その結果、恵まれない環境で育った人を含め、誰もが特権階級の子弟と同じ土俵で競い合えるようになった。われわれは、原則として宣言していることを実際に達成したものと想像してみよう。つまり、すべての市民は平等な機会を手にするべきであり、才能と努力の許すかぎり出世できるという原則だ。

もちろん、こうした社会を実現するのはきわめて難しい。差別が完全に克服されることはないだろう。家族制度のせいで、すべての人に平等なチャンスを与えるというプロジェクトは困難なものとなる。裕福な親が我が子にもたらす恩恵を埋め合わせるのは容易ではない。私が主として念頭に置いているのは、相続財産の話ではない。遺産税をしつかりかければ、その問題には対処できる。私が考えているのは、誠実で裕福な親が我が子を手助けする日常的なあり方のことだ。最も包括的な最高の教育制度でさえ、恵まれない境遇にいる生徒を、あふれんばかりの思いやり、資源、コネを与えてくれる家庭の子供と同じ条件で競えるようにするのは難しい。

しかし、これが実現できるものと仮定しよう。学校で、職場で、人生で、成功のために競い合う平等な機会をすべての子供に与えるという約束を果たせるものと考えてみよう。その場合、正義にかなう社会が成立するのだろうか。

つい、こう言いたくなる。「もちろんだとも。これこそ、まさにアメリカン・ドリームじゃないか——流動性の高い開かれた社会、つまり、農場労働者の子供だろうと、無一文の移民の子供だろうと、CEOに出世できる社会をつくるんだ」。こうした夢がアメリカ人にとって特別の魅力を持ちつづけるかぎり、それはまた世界中の民主主義社会において共感を呼ぶことになる。

完全に流動的な社会は、二つの理由から、人を奮い立たせる理想となる。第一に、それは自由についてある種の考え方を表している。つまり、自分の運命を決めるのは、生まれた環境ではなく、自分自身であるべきだという考え方だ。第二に、自分が獲得するのは、自分が値するものであつてほしいという願いを示している。自らの選択と才能に基づいて自由に出世できるとすれば、成功を収める者はそれを享受するに値すると言つても、公正に思える。

だが、その強い魅力にもかかわらず、能力主義が完全に実現しさえすれば、その社会は正義にかなうという主張はいささか疑わしい。まず第一に、能力主義の理想にとって重要なのは流動性であり、平等ではないことに注意すべきである。金持ちと貧乏人のあいだの大きな格差が悪いとは言っていないのだ。金持ちの子供と貧乏人の子供は、時を経るにつれ、各人の能力に基づいて立場を入れ替えることが可能でなければ——つまり、努力と才能の帰結として出世したり没落したりしなければ——おかしいと主張しているにすぎない。誰でも、偏見や特権のせいで、底辺に留め置かれたり頂点に祭り上げられたりすべきではないのである。

能力主義社会にとって重要なのは、成功のはしこを上る平等な機会を誰もが手にしていることだ。Aはしこの踏み板の間隔がどれくらいであるべきかについては、何も言わない。能力主義の理想は不平等の解決ではない。不平等の正当化なのだ。

このこと自体は、能力主義に反対する議論ではない。だが、それはある疑問を提起する。能力主義的な競争の結果として生じる不平等は、正当化されるだろうか？ 能力主義の擁護者は「イエス」と答える。全員が平等な条件で競い合うかぎり、その結果は正義になっているというのだ。

(マイケル・サンデル著／鬼澤忍訳『実力も運のうち 能力主義は正義か？』による)

問一 この文章を二五〇字以内でまとめなさい。

問二 傍線部 A は、どのようなことですか。具体的に二〇〇字以内で説明しなさい。

問三 筆者が述べている能力主義の問題について、あなたはどのように考えますか。自分の経験や具体例を踏まえて二〇〇字以内で説明しなさい。